



校長室だより

2021年11月26日
こさき こうじ
校長 小崎 功二



学校 HP

郡山中学校区 コミュニティ・スクール(四つ葉のクローバー)

仙台市教育委員会の方針として、地域との協働の更なる充実を目指して、令和5年度からのコミュニティ・スクール(地域運営学校・学校運営協議会設置)の実施が義務付けられました。この方針を受けて郡山中学校区4校(郡山中学校・郡山小学校・東長町小学校・八本松小学校)では、義務教育9年間を通じた学びの連携を重視し、4校による学校運営協議会の立ち上げに向けて調整を重ね、連携を密にしなが、来年度(令和4年度)からの実施を決定いたしました。

1 目的

未来をつくる子供たちの豊かな成長のために、郡山中学校区の地域の力を集め、学校・家庭・地域が一体となって「地域総ぐるみでの教育」を実現する。

2 目指す児童・生徒像(9年間で育む子ども像)

「自らの夢実現に向けて、具体的な目的意識を持ち、自ら考え、協調して行動する児童・生徒」

3 目指す地域(コミュニティ)

郡山中学校区における「9年間で育む子ども像」についての共通理解の下、指導の連続性や校種間の円滑な接続を図る小中連携(縦のつながり)と、学校・家庭・地域が一体となって豊かな学びの環境を創造することを目的とした地域連携(横のつながり)を通して、社会的自立の基礎を身に付けた、たくましい子供の育成を図る学びの連携を推進し、「地域総ぐるみでの教育」の実現を目指す。(※郡山中学校区には、地域の皆様の力をお借りしながらこれまでも取り組んできた「地域で子供たちを育てる」という伝統があります。その土台を生かし、更なる発展を目指します。)

4 内容

令和3年度内に準備委員会を立ち上げ、4校の次年度の運営方針等について3月に承認を受け、令和4年度から活動を開始する。

学校運営協議会では、子供たちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有するため「熟議(熟慮と議論)」を重ねながら、子供たちのために何ができるかを考え、実行します。

熟議テーマ例

- 目指す子ども像
- 学校と地域が一緒にできること
- 「いじめ」を撲滅するには
- 子どもたちの「学力」を向上させるには
- 「あいさつ」ができる子どもを育てるには

文部科学省がコミュニティ・スクール推進のシンボルにしているのは「四つ葉のクローバー」です。

平成28年度「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム(東京会場)において、四つ葉のクローバーをシンボルとしたことについて次のようにまとめられています。

四つ葉のクローバーは幸せの象徴であり、持続可能な未来を作るために、学校と地域の協働において大切にしたい4つの視点「分かち合う」「育て合う」「積み重ねる」「つなぐ」をそれぞれの葉に例え、さらに、そのために「学校」「地域」「保護者」「行政」という4枚の葉も一つになって、子供たちのために取り組んでいこうというメッセージが込められています。

また、「Vision」「Mission」「Passion」「Innovation」の4つの思いを持ち続けることも、持続可能なコミュニティ・スクールづくりには大切なことです。

郡山中学校区コミュニティ・スクールにおいては、1中3小の4校が一つになってコミュニティ・スクールを実施します。これもまさに「四つ葉のクローバー」です。

今後、4校一丸となって取組を進め、随時お便り等で具体的な取組や進捗状況を報告して参ります。

..... 切り取り線

学校への御意見・御要望・校長に知らせたいこと など

2021年11月26日()年()組 児童氏名